

● <会計の担当者にとってほしいこと>  
会計入門講座

6月17日(金)に、ボランティア団体向けの会計入門講座を開催しました。

会計とは「きっちり管理し、主旨に合うものに使いましたよ」ということを証明する行為のことです。特に、ボランティア団体の場合は、団体の会員や助成金を出した相手、寄付してくれた相手に対してきちんと説明することが必要です。

講座では、会計の役割、いつ誰が見てもわか



る会計ルールについて学び、間違いやトラブルを防ぐために効果的なヒントを紹介しました。

まちづくり支援室では、会計についての相談もお待ちしています！

● <新しい仲間を迎えよう！>  
メンバー募集・受け入れ上手になろう講座

7月26日(火)に、第1回ミニ講座「活動のメンバーを集めよう」を開催しました。募集チラシの配布・・・の前に、一歩立ち止まって「受け入れるための準備」をすることを、この講座では解説しました。

このときのポイントは2つ。1つ目は、参加する人のステップアップできる仕組み(=参加のはしご)をつくること。活動の関わり方が多様になれば、関わる人が増えるのです。まずは団体や活動を知ってもらう、興味を持ってもらうことを入り口にはどうでしょうか？

2つ目は、(1)受入準備(2)募集(3)活動(4)定着、という募集からメンバーになってもらうまでの流れを理解し意識すること。受け入れ上手の団体は、どんな人に来てほしいのか、その人に何



▲「そもそもメンバーって誰のこと？」からスタート

をしてもらうのか、そのために何を使ってどんな広報をするのか詳しく設定して募集を行います。

講座の最後には、団体運営のお悩み「あるある」を共有し、これからの活動に活かそうと意識を高めて幕を閉じました。

★今年度のミニ講座は、第2回「広報写真講座」(10月19日)、第3回「パソコンを使ったチラシ講座」(2017年1月)を予定しています！

▼ <協働事業・おおきな木×子育て支援課>  
別府町内会 子育てサロン！



▲ 子ども大人もリラックス

公民館で開催する事で、地域の大人や子育て中の家族同士が知り合える貴重な場となります。

地域で子どもを見守る関係作りが始まっています。

▼ <協働事業・ウェルフェアだんだん×福祉課>  
認知症カフェ  
まじくるつどい場たからちゃん



▲ 手作りの料理はどれも絶品！

毎月第2日曜日は「たからちゃん」の日。机の上の季節の野菜の料理を囲み、にぎやかな声が響きます。ゆったりとした雰囲気、いろいろな話題が飛び交います。

志免町をもっと知ろう！ 町内会



▲ 町内会についてどの程度知っていますか？

今回は、知っているようで知らない「町内会」について職員勉強会で学んだ内容をもとにご紹介します。

1. 町内会とは地域の住民によって運営される住民自治組織
2. きれいな町づくり、地域の安全、イベントの開催など地域活動を行う
3. 地域独自の活動に取り組む町内会もある

志免町には現在30の町内会があり、それぞれに町内会長がいます。町内会は、地域に根差した様々な活動を通して、地域住民どうしの交流を深め、地域の美化や安全、災害などの「もしも」のときの助け合いをスムーズにする働きがあります。そのため、町内会長は町から様々な事務を委嘱され、日々町内会と住民のために業務にあたっています。地域に根差した住民活動には、町内会とパートナーを組むのも一つの方法ですね。

◆ <NPO 法人スペース deGUN2>  
「居場所と権利と子どもたち」

【来たいと思う時に来られる  
安心できる大人がいつもそこにいる】

子どもの居場所づくりに取り組む NPO 法人スペース deGUN2 が設立 10 周年を迎えました。そこで、8月28日(日)にシーメイトホールで記念式典と記念行事「居場所と権利と子どもたち」が行われました。

記念行事の第1部は NPO 法人フリースペースたまりば理事長の西野博之さんの講演会「子どもの居場所はどこにある？」。

10代の尊い命が失われた事件を切り口に「どうして、大人は少年たちの SOS に気づけなかったのだろう」と、様々な立場から検証していく中で「子どもの居場所はどこにあったのか？」という問いに行きついたそう。

“その子”が生きてきた17~18年のあいだに、地域や家庭、学校、色々な人と関わる中で、その子のそばに、例えばちょっとくらいヤンチャな10代の若者でも行けるような場所があれば違ったのでは？と問いかけ、ネグレクト・貧困や大人の過干渉などにより追いつめられる現代の子どもたちにとって、心が休まる「居場所」の存在がどれほど大切なものなのか、長年の実践と経験、



▲ 志免町の状況について話す百田代表  
▲ 子どもたちの手作りのロゼット

研究をもとにお話されました。

第2部は参加者とのやりとりをしながら、スペース deGUN2 代表の百田さん、講師の西野さんの対談「みんなで語ろう！！これからの居場所」。

リリーフの様子や向き合うスタッフのこと、学童保育の変化、子どもの居場所づくり活動、そして子どもたちの持つ無限の力の素晴らしさ・・・

今、問われているのは、子どもを見守る大人の力。法人設立10周年。代表の百田さんは「これからも、子どもたちが安心して自分らしくいられる居場所になるように、スタッフと共に子どもたちと関わり続けたい。」と話していました。

10周年  
記念